

付知町まちづくり協議会だより

2014.3.25発行 No24

付知町新年会開催

平成26年1月24日、アートピア付知交芸プラザで、中津川北商工会付知支部と付知町まちづくり協議会共催の「付知町新年会」を開催しました。付知町全体で行うようになって6年目になります。

来賓に早川県議、三浦市議をお迎えし、町内の各種団体の方や付知住民の皆さん約140名の方に参加していただきました。普段はなかなかお会いできない方も付知の今後について熱く語り合い、大盛況の新年会となりました。

《早川正人まち協会長あいさつより抜粋》

元旦の朝、新聞の社説に「人間中心の国づくりへ」という記事が掲載されていました。人間中心のまちづくりは、今私たちが行っているまちづくりそのものだと思います。付知の住民がみんなで支え合い、協力してこそ住みやすい町になることを知っていました。一人でも多くの方に協力していただけるよう努力していきたいと思っています。

今年度、皆さんの協力を得て「広報つけち」が開始しました。90%以上の世帯に加入いただき、災害時には中津川市の防災無線と連携して情報が流れます。また、放送内容に特別な制限がないので、住民の皆さんに広く知って頂きたいこと、各種行事の案内、学校行事をはじめ登下校の時刻など、いろいろな情報を提供していただき、付知独自の地域情報無線にしていきたいと思っています。

平成24年度のまち協と中学生との意見交換会での提案の中から、中学生と保育園児の合同避難訓練を中津川北消防署の協力を得て実施することができました。災害時には中学生が大きな力となってくれられると思います。

付知町の中から自立した活動がはじめています。福島復興のため、また付知町を花でいっぱいにしてしようと始まった、まちづくり女性の会こびちゃんによる「つけちひまわりプロジェクト」や付知川に親しんでもらおうと地域の活性化に取り組んでいる若者グループによる「付知川魚つかみ大会」の実施。旧街道の活性化を考える若者グループ「付知GINZA会」が県の事業「岐阜まんぷくジャーニー」にて、『YONEMATSUの炊き込みご飯』で付知PRをしてくれます。

まち協の活動は、皆さんの善意のご寄付により運営されております。資金の確保は会として重要な課題の一つです。さらなるご協力をお願いします。一人ひとりの力は小さくてもみんなで協力し地域のつながりができる年になるよう心から願っております。



脇田教授による

「まちづくり勉強会」の開催

2月23日(日)に付知公民館で、滋賀県の龍谷大学の脇田健一教授(社会学)をお招きし、まちづくり勉強会を開催しました。

付知町で、「地域資源を活用し、まちを発展させたい」という思いで活動している団体の方に集まっていたいただき、現在の活動の様子や抱えている悩みなどを発表する中で、今後のヒントとなるお話を伺いました。

参加したのは、こびちゃん(ひまわりプロジェクト)、じいばあず(地味噺つけち)、おひさま(読み聞かせ)、付知GINZA会(旧街道の活性化)、魚つかみ実行委員会(魚つかみ大会)の5団体と区長さん、まちづくり協議会役員他35人が参加しました。

参加者からは、「自分たちが楽しんだことを子供たちにも味わわせたい」、「盆と正月しか帰らない友人たちが羨ましがると言っていた」、「益と正月しか帰らない友人たちが羨ましがると言っていた」、「益と正月しか帰らない友人たちが羨ましがると言っていた」等の意見が出され、脇田教授からも「付知には『やる気』と『材料』が整っている。多くの仲間を集め、活発な活動を行い、周辺地域のモデルとなってリードしてほしい」と締めくくられました。

まちづくり協議会では、今後も付知町の活性化のために活発な活動や団体の支援を行っていききたいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いします。





残り2本の橋脚の工事が進んでいます。【H26.3.17 現在】

♪ 楽しい老後は しっかりした筋肉づくりから♪

日本ニューダンベル体操協会付知支部

「ダンベル」とは、鉄のかたまりのことです。最近はおしゃれでカラフルな物が主流となっています。

「ダンベル体操協会」は、付知で教室を始めて7年になろうとしています。教室を始めた目的は「高齢者の転倒予防」です。

年齢が高くなると何かにつまづいて転倒、骨折をやすくなり「入院→手術→寝たきり」というケースが国内で多くなっています。そこで「転ばぬ先の杖」ではありませんが、痛い目にあう前に筋肉をしっかりさせ、転ばないようにしようというものです。そんな筋肉づくりに最適な種目が「ダンベル体操」なのです。

「イスから立ち上がれない」「ヒザが痛い」「長歩きできない」ことはすべて筋肉が弱ってきた証拠です。40歳代から骨や軟骨の老化が始まり、50歳代になると筋肉の衰えが加わり、歩行障害などが出てきます。将来的には要介護の道へと進んでいきます。

今から自分の体の筋肉を鍛え、人のお世話になることなく日常生活が送れる体づくりをしましょう。筋肉はウソをつきません。やればやっただけのご褒美を私たちの日常生活に与えてくれます。

私たちと一緒にダンベル体操で介護不要のしっかりした筋肉をつくりましょう！



付知中学校生徒会のみなさんより ご寄付を頂きました！

3年生を対象とした「夢講話」でまち協会長の話を聞いたり、中学生とまち協との意見交換会を通じて会の活動や付知の現状を知って頂きました。その中で「今の私たちに何か出来ることはないか」と考えて下さり、「これからのまちづくりに役立ててください」と生徒会が中心となって実施している空き缶回収の収益金40,600円を寄付してくださいました。「中学生の皆さんが付知のことを真剣に考えてくれていると感じ、本当に嬉しく、また、心強く思っています。」と早川会長が代表で受け取りました。中学生の皆さんありがとうございました。



～ご寄付をいただきました～

北原重成 様	100,000 円	匿名の方	300,000 円
長谷川清 様	18,000 円	匿名の方	300,000 円
付知恵比寿奉賛会 様			20,000 円
付知中学校生徒会 様			40,600 円
付知南小学校 様			197 円

【H26.1.21～H26.3.19 受付分】

ご協力ありがとうございました！



まちづくり協議会では今後も皆様のご意見を伺いながら、大切な寄付金を有効に活用させていただきます。ご意見等ありましたら、事務局またはホームページまでお気軽にお寄せください！

